

## 高度な車載式故障診断装置について

### <対象車種>

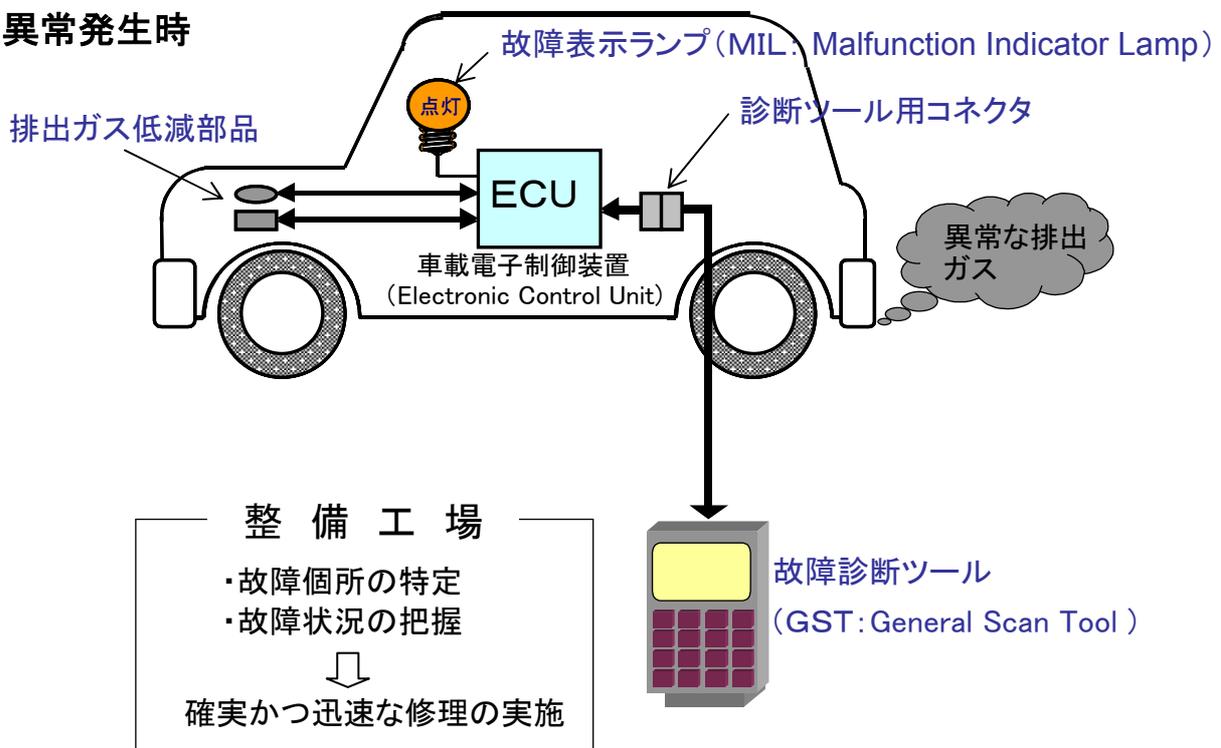
ガソリン又はLPGを燃料とする乗用車及び車両総重量3.5t以下の自動車(二輪自動車を除く。)

### <装置の概要>

車載式故障診断システム(以下「OBDシステムという。 )は、車両自身が排出ガス対策装置の異常を検知・監視し、異常発生時に警報表示して運転者に知らせるとともに、その故障内容を記憶保持する装置です。

現在の新車には、各種センサ等について電気回路の断線を検知する簡易なOBDシステムの装備が義務付けられているところですが、排出ガス規制の強化により排出ガス低減技術は従来より高度精密化していることから、排出ガス低減性能を良好に保つために、各種センサ情報から排出ガス対策装置の異常を検出するような高度なOBDシステムを装備義務付けし、故障を確実にかつ早期に検出し、改善することとするものです。

### ※異常発生時



### ※修理実施後

